



とちぎ

2022

県政のあゆみ



1~3月

日光市で氷上の熱戦が繰り広げられる

1月

いちご一会とちぎ国体 冬季大会開催

1月24日から30日までの7日間、国体・障スポイヤーの幕開けとなる第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」冬季大会を日光市で開催しました。同市での開催は「ひかりの郷 日光国体」以来8年ぶり9回目。

今大会は、コロナ禍の中、入場制限や競技のオンライン配信など感染防止対策を徹底して開催。スケートおよびアイスホッケーの2競技に、全国から約1,700名の選手・監督等が参加し、本県選手団は、天皇杯で過去最高となる7位の成績を収めました。



「高専ロボコン2年連続優勝」&「ロボコン大賞」W受賞おめでとう！

小山工業高等専門学校優勝チームが優勝報告

2月



第34回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021において小山工業高等専門学校が2年連続優勝を飾り、アイデア・技術を総合的に評価するロボコン大賞とのダブル受賞を収めました。

今大会のテーマは、こだわりの技を追求した“すごいロボット”を競う「超絶機巧(すごロボ)」。同校は、フィギュアスケートをイメージした一本足で自立可能なスケーターロボット「アクセル姉さん」を製作し、今大会唯一の満点を獲得。2月15日に県庁で行われた優勝報告会では、実際に使用されたロボットが披露されました。

地域で受け継がれ、100年続く伝統的な食文化

3月

しもつかれ、文化庁の「100年フード」に認定

多様な食文化の継承・振興への機運を醸成する文化庁の「100年フード」に、本県の郷土料理しもつかれが認定されました。

「100年フード」は、世代を超えて受け継がれ食されてきた食文化で、地域の風土や歴史・風習の中で個性を生かしながら創意工夫され、育まれてきた地域特有の食文化



を認定する文化庁の新たな制度です。伝統・近代・未来の3部門あり、しもつかれは、このうち伝統部門～江戸時代から続く郷土の料理～として認められました。

3~4月

塩原温泉郷へのアクセスが向上！

3月

一般国道 400 号 下塩原バイパス 全線開通

平成 16(2004) 年度から整備を進めてきた一般国道 400 号 下塩原バイパス(全体延長 3.6 キロメートル)が、3 月 26 日に全線開通となりました。これまで同バイパスの那須塩原市塩



原地区は、道幅が狭く急カーブが連続し、累積降雨量が 200 ミリメートルに達した際には通行止めが行われて塩原温泉郷が孤立するなど課題がありました。

今回の全線開通によって、地域の安全・安心な通行が確保されるとともに、観光をはじめとした地域産業の活性化に大きく寄与することが期待されます。

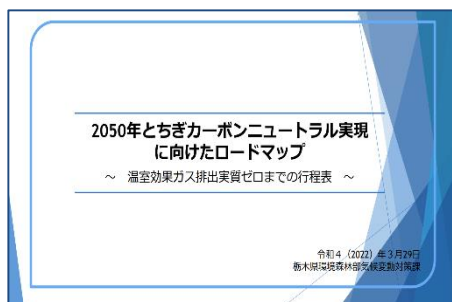
オールとちぎで STOP 温暖化！

3月

「2050 年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」の策定

県は、2050 年カーボンニュートラルの実現・温室効果ガス排出実質ゼロを目指すことを宣言し、その道筋を示すロードマップを策定しました。

ロードマップでは、2030 年における温室効果ガス排出量について、国を上回る 2013 年比 50%の削減を目指し、省エネ化や太陽光発電の導入、電気自動車への転換など、目標達成に必要な取組等を示しました。



今後は、このロードマップに基づき、オールとちぎでカーボンニュートラルの実現を目指していきます。

自転車の安全で適正な利用を目指して

4月

「栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を施行



自転車の安全で適正な利用の促進に関し、自転車が関係する交通事故の防止及び被害者の保護を図り、県民が安全に安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与するため、「栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を4月1日に施行しました。

警察・市町・関係団体等と連携し、交通ルール遵守の徹底、乗車用ヘルメットの着用、自転車損害賠償責任保険への加入等の啓発活動に取り組み、「自転車先進県とちぎ」として、自転車の安全で適正な利用を推進していきます。

4月

障害のある人との共生社会の実現を目指して

4月

「栃木県障害者コミュニケーション条例」を施行

障害者に対する合理的配慮の中で最も重要な、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用を促進するため、「栃木県障害者コミュニケーション条例」を、4月1日に施行しました。(正式名称は「栃木県障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」)

障害のある人もない人もお互いにコミュニケーションを図り、情報の取得が円滑になることで、共生社会の実現を目指します。



銀色に輝く姿、桜を彷彿とさせる身の色彩を表現

4月

「銀桜(ぎんおう)サーモン」に名称決定



水産試験場が開発した管理釣り場向け新魚種「全雌三倍体サクラマス」について、名称募集キャンペーンを実施したところ、45都道府県から2,021件の応募があり、審査の結果「銀桜(ぎんおう)サーモン」に決定しました。

銀桜という名称は、銀色に輝く姿、桜を彷彿とさせる身の色彩を表現しています。大型に成長し、釣り味も良いため、釣り人からも好評を得ています。

北京2022オリンピック冬季競技大会で本県選手が大活躍!

4月

栃木県スポーツ功労賞授与式

北京2022オリンピック冬季競技大会アイスホッケー女子で6位入賞を果たした小池詩織選手に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。

小池選手の今後の活躍に期待します。



5~6月

誰でも気軽に国体に参加！

県内各地で国体デモンストレーションスポーツを開催

国体を契機とした生涯スポーツの推進、競技の普及・振興を目的とし、県民を対象に実施されるデモンストレーションスポーツを開催しました。5月7日のウォーキング(那須烏山市)を皮切りに9月末まで、県内24市町で31競技(33大会)に1万1,191名の選手等が参加しました。



5月~9月

地域の魅力を堪能できる新たなサイクルイベントがスタート

サイクルイベント「ぐるとち 2022」開催



県内全域を舞台とする、新たなサイクルイベント「ぐるとち」の第1回大会を開催しました。

新緑の那須地域を主な舞台とし、初心者から超上級者まで幅広い層が魅力にあふれた7コースに参加しました。

各地に用意された休憩所では、いちごや牛乳、高原野菜など、さまざまな特産品が振る舞われ、順位を競うレースとは

異なり、参加者はとちぎの自然や食、文化などを家族や仲間と共に満喫しました。

Bリーグチャンピオンシップ5シーズンぶり2度目の優勝！

宇都宮ブレックスに栃木県スポーツ功労賞を授与

宇都宮ブレックスがBリーグチャンピオンシップ2021-22において優勝し、5シーズンぶり2度目の王者になりました。

6月5日、県庁から宇都宮市役所までを結ぶシンボルロードで優勝記念パレードが行われ、選手たちは沿道を埋めた約3万5,000人のファンに笑顔で手を振って応えました。

パレードに先立ち、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と榮譽をたたえるため、福田知事が宇都宮ブレックスに栃木県スポーツ功労賞を授与しました。



6月

6月

U字工事さんの栃木愛に感謝！

6月

災害対策に 300 万円を寄付

県は、6月17日に、お笑い芸人でとちぎ未来大使のU字工事の福田薫さんと益子卓郎さんから、クイズ番組で獲得した賞金300万円の寄付を受けました。

「災害対策に役立ててほしい」というお二人の意向を踏まえ、電気自動車と外部給電器をそれぞれ1台購入しました。



電気自動車は、外部給電器と接続することにより、車のバッテリーから電気を取り出し、各種電気機器への給電が可能となるため、避難所の非常用電源を補完する「走る蓄電池」として活用することができます。

森三中・大島美幸さんがあなたの未来を応援します！

6月

タレントの大島美幸さんを「ふたりの未来応援アンバサダー」に任命



県全体で結婚を応援する機運を醸成するため、本県出身でお笑いタレントとして活躍されている大島美幸さんを「ふたりの未来応援アンバサダー」に任命しました。

今後、大島さんには、結婚の良さを伝えるお姉さんの存在として活動してもらうこととしており、県内の若い世代に結婚や婚活に対するポジティブなイメージの発信を行っていきます。

国体・障スポをオールとちぎで盛り上げる！

6月

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催 100 日前イベントを開催

6月25日、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催100日前を記念して、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催100日前イベント」をオリオンスクエア・オリオン通り(宇都宮市)で開催しました。

ステージイベントや各市町の開催競技体験、いちご一会ダンスコンテスト決勝大会など内容盛りだくさんで行われ、間近に迫った両大会に向けて機運の高まりを感じられるイベントとなりました。



新型コロナ自宅療養者への療養支援体制を整備

『とちぎ健康フォローアップセンター』設置

7月12日に新型コロナ自宅療養者向けに『とちぎ健康フォローアップセンター』を設置し、自宅療養者への支援体制を整備しました。

とちぎ健康フォローアップセンターでは、新型コロナ自宅療養者が安心して療養生活が送れるように、体調悪化時の看護師による健康相談やオンライン診療の手配、配食サービスの提供、パルスオキシメーターの配送等を行っています。

7月



地域産業の活性化と広域的な交流・連携の促進に！

一般国道119号 上戸祭立体 全線開通

東北縦貫自動車道宇都宮インターチェンジへのアクセス強化による産業活動の発展や慢性的な渋滞緩和を図るため、平成17(2005)年度から整備を進めてきた一般国道119号 上戸祭立体(全体延長1.2キロメートル)が



7月16日に開通となりました。

これによって、地域の円滑な交通が確保されるとともに、東北縦貫自動車道宇都宮インターチェンジへのアクセスが向上し、地域産業の活性化や広域的な地域間の交流・連携の促進が図られることが期待されます。

7月

栃木県が誇る伝統工芸品を全国に発信！

いちご一会とちぎ国体 総合成績表彰状・額縁等披露式

7月19日、国体の総合閉会式において男女総合成績・女子総合成績第1位から第8位の都道府県へ授与される表彰状と額縁が完成し、製作協力者の出席の下、披露式を行いました。

表彰状は烏山手すき和紙、県産トチノキを使用した額縁には日光彫の彫刻を施し、敷布は結城紬で彩りを添えるなど、いずれも本県の誇る伝統工芸品が用いられています。



7月

7~8月

医療的ケア児と家族が安心して生活できる環境づくりを目指して 栃木県医療的ケア児等支援センター「くるん」を開設

7月



医療的ケア児とその家族、関係者が気軽に相談できる場所として、7月25日に医療的ケア児等支援センター「くるん」を認定NPO法人「うりずん」内(宇都宮市徳次郎町)に設置しました。開所式では、高橋センター長から「医療的ケア児や家族、支援者らと手を取り合い、この地域に生まれ暮らしてよかったと実感できる活動がしたい」とあいさつがありました。当センターでは、相談内容に応じて地域の関係機関と連携しながら支援を行うほか、講演会や家族交流会なども開催しています。

「国体・障スポ文化プログラム」県主催特別企画事業を開催！ みんなで育む“とちぎのたから”ミュージカル「しもつけ王国物語」を上演

7月~8月

「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開催機運を、文化芸術活動を通じて盛り上げ、とちぎの魅力を県内外に発信していくため、オリジナルミュージカル「しもつけ王国物語」を真岡市、那須塩原市、宇都宮市の3会場で上演しました。とちぎの郷土芸能や名所、名産品などが随所に散りばめられたミュージカルには、一般公募による地元の子どもたちも大勢出演し、元気なパフォーマンスを披露しました。



おかげさまで30周年を迎えました！

8月

栃木県民ゴルフ場(とちまるゴルフクラブ)開場30周年記念式典を開催



栃木県民ゴルフ場(とちまるゴルフクラブ)は、開場から30周年を迎え、関係者に感謝を伝える記念式典を開催しました。

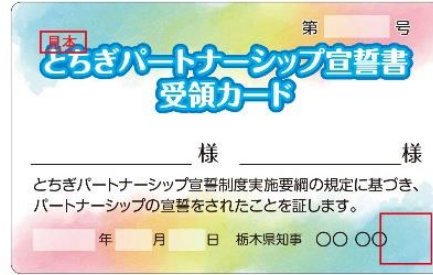
誰もが気軽に利用できるゴルフ場として平成4(1992)年にオープン。これからも生涯スポーツとしてのゴルフの魅力を発信し、設置目的である県民福祉の増進を達成できるよう工夫や改善に努めていきます。

誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現を目指して

9月

「とちぎパートナーシップ宣誓制度」を導入

県では、性的指向や性自認にかかわらず、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現のため、「とちぎパートナーシップ宣誓制度」を9月1日に導入しました。本制度は、人生のパートナーとして互いに協力して継続的に生活を共にすることを宣誓した二人(一方または双方が性的マイノリティ)に対して、県が宣誓書受領カード等を交付する制度です。



引き続き、性の多様性を認め合う意識の醸成を図っていきます。

私達の健康は私達の手で～のぼそう健康寿命、つなごう郷土の食～

9月

令和4(2022)年度全国食生活改善大会並びに第52回全国食生活改善推進員協議会大会の開催

食を通じた健康づくりに取り組む地域ボランティア「食生活改善推進員」の相互交流などを目的とした全国大会が開催されました。(本県では初開催)



大会は、高円宮妃久子さまのご臨席の下、代表団体の活動事例発表、厚生労働大臣表彰および南・賀屋賞の表彰式、フレイル予防に関する記念講演が行われました。

水泳・体操・バレーボール・弓道の4競技で熱戦!

9月

国体会期前実施競技の開催



いちご一会とちぎ国体の開幕(10月1日)に先立ち、9月10日から19日までの10日間、県内3市で会期前実施競技を開催しました。

全国から約3,000名の選手・監督が参加し、水泳(※オープンウォータースイミングは中止)・体操(体操競技・新体操)・バレーボール(ビーチバレーボール)・弓道の4競技が実施され、熱戦が繰り広げられました。

政府等主催の国際会議の誘致に成功！

9月

G7 男女共同参画・女性活躍担当大臣会合 日光市開催が決定

9月16日、松野内閣官房長官の記者会見において、2023年G7広島サミットに伴う男女共同参画・女性活躍担当大臣会合について、日光市で開催することが発表されました。

これを受け、大臣会合の開催に向けた準備等を進めるため、9月30日には庁内に推進室を設置しました。



ふるさととちぎの豊かな歴史と仏教文化の世界を堪能！

9月～10月

県立博物館開館40周年記念特別企画展の開催



県立博物館は、開館40周年を迎えることを記念し、特別企画展「鑑真和上と下野薬師寺～天下三戒壇でつながる信仰の場～」を9月17日から10月30日まで開催しました。

奈良時代の日本に戒壇を伝えた「鑑真和上」と、和上の伝えた戒壇で、東国で唯一戒壇が設けられた、本県初の国指定史跡である「下野薬師寺」の歴史を、唐招提寺等に伝わる貴重な資料等、150件を超える国宝・重要文化財の名宝とともに企画展で紹介しました。開催期間の来館者数は2万人を超え、企画展は大盛況に終わりました。

世界で活躍するスポーツ選手たちの功績をたたえて

9月・12月

栃木県スポーツ功労賞授与式

本県出身で世界大会のメダリスト2名に対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と荣誉をたたえ、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。



9月に授与したのは、世界水泳選手権大会(ハンガリー・ブダペスト)の男子100mバタフライで銀メダルを獲得した水沼尚輝選手。12月は、世界柔道選手権大会(ウズベキスタン・タシケント)の男女混合団体で優勝した太田彪雅選手です。2選手の今後の活躍に期待します。



県民総参加による環境配慮と日本一のおもてなしの国体開催

10月

夢を感動へ。感動を未来へ。第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」開催

10月1日、栃の葉国体以来42年ぶりとなる「いちご一会とちぎ国体」が開幕。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本大会は2大会連続での中止となる中、3年ぶりの開催となりました。



初日、カンセキスタジアムとちぎで行われた総合開会式には天皇皇后両陛下がご臨席。約1万1,400人の参加者を前に、ブルーインパルスの華麗な飛行に始まり、本県選手団約340名を含む47都道府県選手団の入場、炬火点火、選手代表宣誓等が行われました。式典演技では約1,400人の県民による創作ダンスが披露され、とちぎの魅力・実力が全国に発信されることとなりました。

大会は、全国から約40万人の選手等を迎え、トップアスリートによる熱戦が11日間にわたって繰り広げられ、本県選手団は、都道府県対抗で競う天皇杯・皇后杯ともに第2位の好成績を収めることができました。



とちぎ国体では、競技以外にもメイド・イン・とちぎの環境配慮製品の導入や学校や地域と協働した花いっぱい運動、多くのボランティアなど、県民総参加の大会運営により有形・無形のさまざまなレガシーが創出され、これらは未来へ継承されていくこととなります。

3年ぶり海外バイヤーを招へい

10月~11月

とちぎの農産物の魅力を海外バイヤーへPR

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、3年ぶりにタイ、ベトナム、シンガポールからバイヤーを招き、梨やコメの生産現場、牛肉の加工施設等の視察および生産者との意見交換を実施しました。

バイヤーからは「とちぎの安全安心で美味しい農産物を自国で広めていきたい」との好評を得られ、とちぎの農産物のさらなる輸出拡大が期待されます。



とちぎで就農するための役立つ情報を発信するウェブサイトがオープン！

とちぎ就農支援サイト「tochino(トチノ)」オープン

10月

「とちぎで農業を始めたい！」と考えている方や「農業の体験だけはしてみたいかも…」と思っている方など、さまざまな方々に農業を始めるためのポイントや役立つ情報を発信しています。



就農支援スペシャリストや先輩生産者のインタビュー記事のほか就農環境や研修制度、農地・空き家情報、支援策など、県内で就農するまでの情報を一元的に掲載しています。農業体験会や就農相談会等のイベント情報も案内しています。



環境負荷低減と収益性向上の両立に向けて

10月

とちぎグリーン農業推進協議会設立



環境問題に対する社会的関心が高まる中、農業由来の環境負荷低減に向けた取組を推進するため、県、市町および農産物の生産、流通、消費に関わる団体や企業の代表からなる「とちぎグリーン農業推進協議会」を設立しました。

10月18日に開催した第1回会議では、環境負荷の低減と収益性の向上の両立を目指す「とちぎグリーン農業推進方針」の策定に向け、本県農業における課題を整理しました。今後さらに議論を進め、方針を策定し、具体的な取組を進めていきます。

モネやルノワールら印象派の名画が勢揃い！

10月～12月

県立美術館開館50周年記念企画展の開催



県立美術館では、開館50周年を記念し、「印象派との出会い-フランス絵画の100年 ひろしま美術館コレクション」を下野新聞社との共催で10月22日から12月25日まで開催しました。

高い人気を誇る18世紀後半以降の西洋美術作品や、それらに影響を受けた日本の近代洋画などさまざまな名品が一堂に展示され、多くの観覧者を魅了しました。

10~11月

共生社会の実現に向け感動を未来へ

10月

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」を本県初開催

本県初となる全国障害者スポーツ大会を10月29日から31日までの3日間にわたって開催しました。

大会では、正式競技として初めて実施されたボッチャをはじめ、個人7競技、団体7競技を実施しました。

本県選手団は、個人競技では過去最多となる計141個のメダル(金62個、銀40個、銅39個)を獲得したほか、団体競技でもサッカーで準優勝、バレーボール(知的・女子)やフットソフトボールで3位と輝かしい成績を取めました。



日本一のおもてなしでとちぎの元気を全国に発信するとともに、参加したすべての人が、交流を深めることで生まれた感動がレガシーとなり、障害の有無にかかわらず、県民誰もが共に支え合う共生社会の実現に向けた、未来の人づくり、地域づくりにつながる大会となりました。

文化振興への貢献をたたえて

11月

栃木県文化功労者表彰式

県の文化振興に著しく貢献された方を、栃木県文化功労者として表彰しており、令和4(2022)年度は北口英雄(きたぐちひでお)氏(写真・下)と佐藤則武(さとうのりたけ)(雅号:玄武(げんぶ))氏(写真・右)が選ばれました。



北口氏は、県立美術館および博物館の開設に携わられ、運営の礎を築かれるとともに、県内の仏像を網羅的に調査研究されるなど、地域の文化振興に大きく貢献されています。また、佐藤氏は、日光二社一寺の国宝・重要文化財の漆塗工事や調査に携わられ、国の選定保存技術保持者に認定されるなど建造物漆塗の分野で高い評価を受けています。



11月10日に表彰式が行われ、第1回表彰(昭和24年)からの受章者は、合計154人(学術41人、芸術80人、産業・教育等33人)になりました。

設立総会を開催、オールとちぎでの推進体制を構築！

11月

G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会の設立



令和 5(2023)年 6 月に栃木県日光市で開催予定の「G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」の成功に向け、11 月 15 日に「G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会」の設立総会を開催しました。

協議会では大臣会合の成功に向けた支援、魅力発信、歓迎機運醸成などをオールとちぎで取り組み、地域の活性化に資していきます。

ライトライン (LRT 車両) がまちなかに登場！

11月

芳賀・宇都宮 LRT 試運転開始

令和 5(2023)年の開業に向けて、「宇都宮駅東口から平石まで」の区間において、11 月 17 日から、ライトライン (LRT 車両) がまちなかに出ていく「試運転」が開始されました。試運転は、芳賀・宇都宮 LRT が安全に開業・運行できるよう、車両が本線上において支障なく走行できるか確認を行う目的で実施されています。芳賀・宇都宮 LRT は、宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業団地の延長 14.6 キロメートルを結ぶ路線として、平成 30(2018)年度から宇都宮市と芳賀町で整備を行っており、県でも支援をしています。



栃木県版図柄入りナンバープレートの導入を目指して

11月

国土交通省へ「いちご」の図柄を提案

11 月 25 日に「栃木県版図柄入りナンバープレート」の図柄を決定し、国土交通省へ提案しました。図柄は、いちごが大きく配置され、本県の自然や気候の豊かさや人々の温かさが背景の 3 色で表現されています。今後、国土交通省における図柄の審査等を経た上で、令和 5(2023)年 10 月頃からナンバープレートの交付が開始される予定です。



11~12月

いちごスイーツ勢揃い

11月

県産いちごのスイーツコンテストを開催



「いちご王国」5周年を記念して、「いちご王国・栃木」スイーツコンテストを開催しました。プロ部門では洋生菓子、和生菓子、ギフト菓子の3部門を設けたほか、学生部門も創設し各部門でのグランプリと準グランプリを決定しました。各部門において多数の応募がありましたが、どのスイーツも県産いちごの味を生かしたスイーツばかりで、「いちご王国・栃木」の認知度向上や県産いちごのPRにつながりました。

国内外で活躍した方々を招待

12月

“輝くとちぎ人”の集い

スポーツ・文化・学術・技能などの各分野で国内または国外において、顕著な功績のあった方々に対して感謝と激励の意を表するとともに、その功績を広く県内外に発信するため、“輝くとちぎ人”の集いを県公館で開催しました。



午前の部には、栃木県スポーツ功労賞を受賞した宇都宮ブレックス、いちご一会とちぎ国体で選手代表宣誓を行った檜崎智亜さん、いちご一会とちぎ大会で選手代表宣誓を行った加藤凜香さん、午後の部には、いちご一会とちぎ国体総合閉会式で炬火引継ランナーを務めた薄井えりかさん、栃木県文化功労者の佐藤則武さんが招待されました。そのほか、国際大会や全国大会の入賞者などさまざまな分野で活躍した方々が招待され、出席者同士が和やかに懇談し、交流を深めていました。

※「檜」の字は正しくは「木偏にソに酉」と書きます。

ハンガリーとの友好交流の懸け橋に！

12月

知事がハンガリー国騎士十字功労勲章を授与

県は、令和3(2021)年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、ハンガリーのホストタウンとして事前合宿の受け入れや交流イベントなどに取り組んできました。その結果、両国友好の懸け橋となったことなどが評価され、ハンガリー政府から、県民を代表して福田知事にハンガリー国騎士十字功労勲章が授与されました。



県は、この友好関係を一過性にせず引き続きハンガリーとの交流・絆を深めていきます。

大規模災害に備えて

12月

栃木県と栃木市の共催で大規模災害を想定した訓練を実施

12月11日、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた総合防災訓練を、栃木市との共催により3年ぶりに実施しました。東日本大震災や令和元年東日本台風の教訓を踏まえて、消防、警察、自衛隊が連携した救出・救助訓練や、医療機関による応急救護所設置運営訓練、事業者による各種ライフラインの復旧訓練など、災害時の実情に即した形で、具体的かつ実践的な訓練に取り組みました。



知事が本県の魅力・実力を直接 PR

12月

知事のベトナムおよびタイ訪問

12月20日から25日まで、本県の魅力を発信するため、福田知事が県議会議員等と、ベトナムおよびタイを訪問しました。

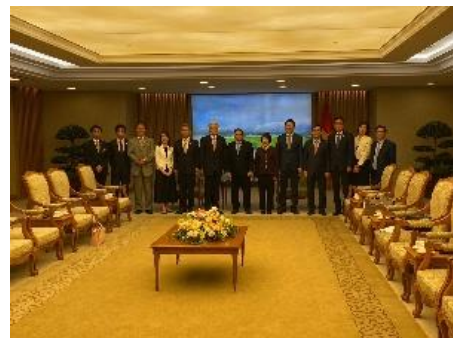


ベトナムでは、ファム・ミン・チン首相と会談を行うとともに、昨年11月に覚書を締結したビンフック省を訪問し、県内企業が同省の日系工業団地へ進出する際に優遇措置が受けられるよう協定を締結。



タイでは、政府観光庁のユッタサック・スパソーン総裁と会談を行うとともに、趣意書を締結し、誘客プロモーション活動の相互支援等に努めることを確認しました。

加えて、両国では、現地政府や民間企業等の要人を招待した



「魅力発信レセプション」を開催したほか、現地バイヤーや消費者等を対象とした「魅力発信イベント」では、知事によるトップセールスを行いました。

とちぎ 県政の あゆみ 2022

月	日	できごと
1月	11	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定
	15	「いちご王国・栃木の日」記念イベント
	24	第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」冬季大会開催(30日まで)
	25	とちぎ女性活躍応援フォーラム2021
	29	阪神のいちごとチョコフェス2022(2月14日まで)
2月	4	「いちご王国」情報発信拠点「とちぎのいちごや」の設置(14日まで)
	9	期間限定ショップ『栃木 SPECIAL 2days』(10日まで)
	15	高専ロボコン2年連続優勝報告(小山工業高等専門学校)
3月	27	いちご一会とちぎ国体冬季大会 デモンストレーションスポーツの開催
	2	とちぎ女性農業者フォーラム
	3	しもつかれ、「100年フード」認定
	24	第3回栃木県農業大賞表彰式
	26	一般国道400号 下塩原バイパス全線開通
4月	29	「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ」を策定
	1	「栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を施行
	1	「栃木県障害者コミュニケーション条例」を施行
	1	岡本台病院、地方独立行政法人化

4月	6	春の交通安全県民総ぐるみ運動(15日まで)
	11	とちぎ農業経営就農相談センター開所
	12	全雌三倍体サクラマスの名称が「銀桜(ぎんおう)サーモン」に決定
5月	27	栃木県スポーツ功労賞授与式(小池詩織選手)
	7	いちご一会とちぎ国体 デモンストレーションスポーツの開催(9月まで)
	21	「ぐるとち2022」開催(22日まで)
	21	いちご一会とちぎ大会リハーサル大会開催(22日まで)
	25	消費者月間記念イベント「消費者のつどい」
	26	第76回栃木県芸術祭(11月23日まで)
	28	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会市町炬火イベントを開催(9月まで)
6月	3	「ベビーファースト運動」に参画
	5	栃木県スポーツ功労賞授与式(宇都宮ブレックス)
	11	令和4年度県民の日記念イベント
	14	廃棄物運搬車両調査
	17	U字工事さんから300万円寄付
	23	大島美幸さんを「ふたりの未来応援アンバサダー」に任命
	25	いちご一会とちぎ国体 公開競技の開催(9月まで)
7月	25	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催100日前イベント
	29	栃木県フロンティア企業認証式
	11	いちご一会とちぎ国体における自衛隊の協力に関する協定締結
	12	「とちぎ健康フォローアップセンター」を設置
	14	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー
	16	一般国道119号 上戸祭立体 全線開通
	19	いちご一会とちぎ国体 総合成績表彰状・額縁等披露式
7月	23	県内において国内最大規模の豚熱発生
	25	医療的ケア児等支援センター「くるん」を開設
		いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会文化プログラム県主催特別企画事業 みんなで育む”とちぎのたから”ミュージカル「しもつけ王国物語」(ほか8月7日、8月11日)
	31	

8月	8	第1回とちぎ農業女子トーク&カフェ	10月		事感謝状贈呈式
	19	期間限定アンテナショップ「とちぎもん in なんば」(9月8日まで)		22	県立美術館開館50周年 秋の記念企画展(12月25日まで)
	27	栃木県民ゴルフ場(とちまるゴルフクラブ)開場30周年記念式典		25	第35回きこ料理コンクール
9月	1	「とちぎパートナーシップ宣誓制度」導入	28	秋篠宮皇嗣同妃両殿下が特別支援学校・農業大学校を御視察	
	1	いいもの商談会 in 大坂(2日まで)	29	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」(31日まで)	
	1	「とちぎの農作物等盗難防止に関する協定」締結式	4	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー in 大坂	
	2	令和4年度全国食生活改善大会並びに第52回全国食生活改善推進員協議会大会	4	第42回全国アビリンピック(千葉県)(6日まで)	
	10	いちご一会とちぎ国体 会期前実施競技の開催(19日まで)	4	第60回回技五輪全国大会(千葉県)(7日まで)	
	10	本物の出会い栃木オータムマルシェ(11日まで)	5	ヒューマンフェスタとちぎ2022	
	16	G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の日光市開催が決定	10	栃木県文化功労者表彰式	
	17	県立博物館40周年記念企画展(10月30日まで)	12	第15回子どもたちの木工工作コンクール表彰式	
	17	第45回栃木県少年の主張発表県大会	15	G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会の設立	
	19	出流原スマートインターチェンジ 開通	15	第14回栃木県交通・生活安全安心県民大会	
	20	栃木県スポーツ功労賞授与式(水沼尚輝選手)	17	芳賀・宇都宮 LRT 試運転開始	
	21	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)	17	期間限定アンテナショップ「とちぎもん in うめだ」(12月6日まで)	
	29	栃木県 ABC プロジェクト「自動運転バスに乗ろう@宇都宮市」(宇都宮市での実証実験)開始(10月11日まで)	19	フェスタ in パルティ 2022	
	10月	1	鬼怒川有料道路の無料開放	24	令和4年度栃木県きのこ・わさび展示品評会(25日まで)
		1	第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」開催(11日まで)	24	「いちご王国・栃木」スイーツコンテスト審査会
		2	いちご一会とちぎ国体 県外開催競技(セーリング競技会)を千葉市で開催(5日まで)	25	「栃木県版図柄入りナンバープレート」の国交省提出の図柄決定
		3	海外パイヤーを招へい(11月まで)	26	とちぎものづくりフェスティバル2022
5		第2回とちぎ農業女子トーク&カフェ	1	令和4年度「いちご王国」アンバサダーの委嘱	
7		とちぎ就農支援サイト「tochino(トチノ)」オープン	3	“輝くとちぎ人”の集い	
7		とちぎ花センター開園30周年記念式典	5	知事がハンガリー国騎士十字功労勲章を授与	
16		もくもくまつり2022~あつまれ!!とちぎ木育の森~	8	栃木県芸術祭表彰式	
18		とちぎグリーン農業推進協議会設立	10	のうぎょうラボ2022@農業試験場	
20		県営土地改良事業の換地業務に係る知	11	年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)	
			11	栃木県・栃木市による総合防災訓練を実施	
			12	第30回「ジュニア知事さん」表彰式	
		14	関西圏における「いちご王国・栃木」5		

12 月		周年記念スペシャル 7days (20 日まで)
	16	栃木県スポーツ功労賞授与式(太田彪雅選手)
	19	とちぎ女性活躍応援フォーラム 2022
	20	知事が本県の魅力・実力を直接 PR～知事のベトナムおよびタイ訪問～(25 日まで)
	23	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会メモリアルギャラリー(2 月 28 日まで)
	26	栃木県林業大学校の名称決定



とちぎ県政のあゆみ 2022

令和5年3月31日発行

編集・発行／栃木県県民生活部広報課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

☎ 028-623-2192 FAX 028-623-2160